

先輩からのメッセージ

現役で活躍する3人の先輩たちにインタビュー。
広島でしかできない経験や先生の魅力、楽しさを教えてください。
きっと広島で先生を目指したくなるはず！



子供と一緒に
成長し続ける
先生になりたい

川崎 菜鈴 教諭
呉南特別支援学校(小学部)
教員1年目/岡山県出身

—先生になろうと思ったきっかけは何ですか。

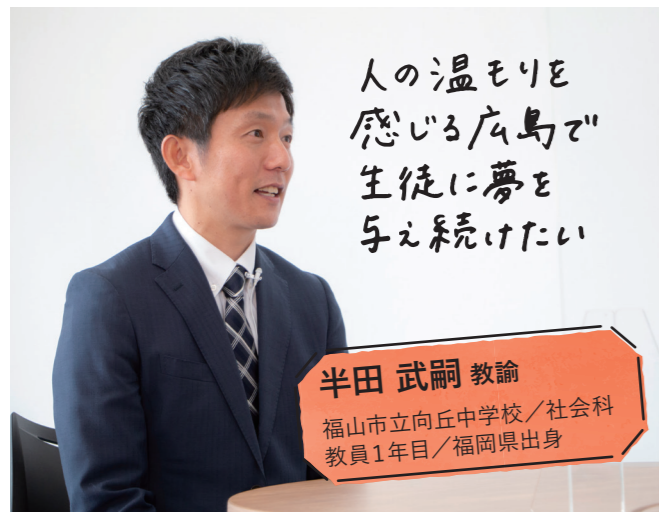
小学生の頃から先生になりたいとずっと思っていて、ここまで突き進んできました。小学生の頃、実は学校が少し苦手だったんです。かつての私のように**学校が楽しくないと思う子供が減ったらいいな、学校に行くのが楽しいと思う子供が増えたらいいな**という思いで、先生を目指すようになりました。

—先生になって約1年が経ちます。これからどのような先生になりたいですか。

まだ分からないことが多いので、**子供と一緒に常に学んでいける先生になりたいです。**

—現在どのようなクラスを担当しているのですか。

聴覚障害のある小学部5年生の担任をしています。大学生の時に手話に関する講義があったので少しはできますが、分からない



人の温もりを
感じる広島で
生徒に夢を
与え続けたい

半田 武嗣 教諭
福山市立向丘中学校/社会科
教員1年目/福岡県出身

—以前は違う仕事をされていたとお伺いしました。

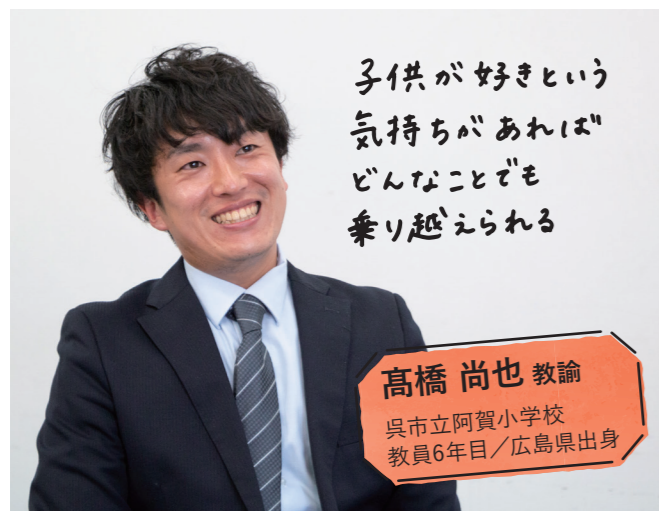
大学卒業後、東京や滋賀などでプロのサッカー選手をしていました。大学で社会科の教員免許を取得していたことや父の実家が広島にあったこともあり、臨時教員を2年した後、昨年教員採用試験を受けました。

—先生になろうと思ったきっかけは。

現役時代に、小学校や中学校へサッカーを教えに行く機会があって、**子供たちのキラキラしている目を見てから、その子供たちの将来のためになにか伝えられることがあったらいいな**と思い、先生を目指し始めました。

—転職することについて、不安はありませんでしたか。

母が国語の先生だったこともあり、「子供たちの成長を見られるのは楽しいよ」「学校生活は楽しいよ」とよく聞いていたので、



子供が好きという
気持ちがあれば
どんなことでも
乗り越えられる

高橋 尚也 教諭
呉市立阿賀小学校
教員6年目/広島県出身

—先生を志したきっかけを教えてください。

両親が教師をしているので、小学生の頃からずっと学校の先生になりたいと思っていました。

—先生になって一番嬉しかったことはなんですか。

児童が「学校が楽しい」と言ってくれたことです。保護者懇談会の時に、「学校が楽しいと毎日子供が言っています」と言ってもらえたり、学校に来られなかった児童が学校に来られるようになったりと成長する児童の姿を見ると、とても嬉しくなります。

—生徒の居場所づくりや雰囲気作りで意識しているところは。

たとえば、児童と話している中でアニメや漫画の話が出ると、家に帰ってすぐ見るようにしています。たとえ見られなかったとしても、そのことを話題に出したり、児童から詳しい話を聞いたりしてコミュニケーションをとっています。



インタビューー

大窪 シゲキ

ラジオDJ。中高生を応援するラジオ番組
広島FM『大窪シゲキの9ジラジ』出演。

インタビュー動画あり！
詳しくはコチラ



手話は、先輩教員や児童に教えてもらっているところです。児童とは、音声と一緒に手話でコミュニケーションをとっています。

—職場の雰囲気はどのようにですか。

職員室の雰囲気はとても良いです。分からないことがあると、周りの先生がすごく丁寧に教えてくれます。特別支援学校ならではのと思うのですが、本校には幼稚部から高等部までの先生が勤務しています。どんな相談にも、いろいろな角度からアドバイスをもらえるので、とても勉強になります。たとえば、私の授業を見て、どういう風に工夫をしたら良いか教えてもらったり、職員室でコーヒーを飲みながら、仕事の相談に乗ってもらったり。最近どう？とプライベート面も気にかけてもらい、**すごく温かい職場**です。

—オフの時は何をしていますか。

先輩教員から「オンとオフの切り替えは大事だよ」と教えてもらったので、意識して切り替えるようにしています。たとえば車で出かけたり、サイクリングをしてみたり。オフの日でも、出かけた先で「これは学校で話せそうだな」「教材になりそうだな」と授業や児童のことをつつい考えてしまいます。

—最後に先生を目指している後輩たちに一言。

私が中学生の時、部活動の先生が「never give up」とよく励ましてくれていました。「諦めないで、とにかくチャレンジする」。当時からその言葉が支えになっていて。こうやって**今先生になれたのも諦めずにいろいろなことに挑戦してきたからだ**と思います。どんなことがあっても、自分のやりたいことを諦めずに頑張ってください！

幼い頃から学校は身近な存在でした。今、母と同じように先生として働いて、大変なこともたくさんありますが、とても幸せです。

—今までサッカーをしていて、なぜ社会科の先生に。

中学校の社会科の先生がすごく面白い人で、授業が楽しかったです。もともと歴史や地理に興味があり、子供たちに楽しいということを伝えたくて、社会科の先生になりました。今までいろいろな土地で暮らしてきたので、**その土地ならではのことを、これから生徒に教えていきたいと思っています。**

—全国の中から見て、広島の印象はいかがですか。

まだ広島弁に慣れないこともあるのですが、親切にしてもらえることが多いので、**すごく温かい地域**だなと思います。

—職場で先輩の中には年下の人もいると思うのですが、関係性はいかがですか。

実はあまり年齢差を感じたことはないです。今自分ができることを精一杯やるしかないで、分からないことがあれば、同じ教科の先輩や同じ学年を担当している先生に相談をしながら取り組んでいます。

—学生時代のうちにやっておくべきことはありますか。

自分が先生になった後に待っている生徒のことや学校生活の楽しさをイメージしながら勉強をすると良いと思います。

—先生を目指している皆さんにメッセージをお願いします。

子供の前に立つのは緊張しますし、正直何を教えたらいいのかわからないこともたくさんありました。ですが、**子供たちの表情や態度に支えてもらえる素敵な仕事**だと思います。一緒に頑張ってください。

—初任の時、どのように壁を乗り越えてきましたか。

困ったときは、周りの同僚や先輩とにかくたくさん相談をしました。**いろいろなアドバイスをもらう中で、自分に合うやり方を模索、実践しながら、少しずつ壁を乗り越えていきました。**

—6年間を振り返って、成長したと感じることはありますか。

初任から4年目までは、いろいろなアドバイスをもらいながらやってみましたが、5年目以降は自分で考えてやらないといけないことも増えてきます。そこが大変なのですが、逆に自分のやりたいことが少しずつできてくるので、楽しさも味わえます。

—以前担任をしていた児童と今でも交流はありますか。

コロナで会えていないのですが、初めて担任をした児童からは今年も年賀状が届きます。当時から私が大切にしている言葉「凡事徹底」を児童に伝えていたこともあり、年賀状に「凡事徹底で

受験頑張ります」とコメントがあった時には、**私が言ったことを今でも覚えてくれてるのだ**と思います、**すごく嬉しかったです。**

—先生の魅力はどこなところですか。

子供がいるときの仕事が一番楽しいです。なにより子供と一緒に過ごせる、一緒に成長できるということが先生の魅力だと思っています。

—先生を目指している後輩たちに一言をお願いします。

先生の仕事は大変なこともありますが、**子供が好きという気持ちがあれば、どんなことがあっても乗り越えていけるはず**です。しっかりと子供を愛せる人であれば良い先生になれると思います。頑張ってください。